

広告

企画・制作 LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 実行委員会



スーパーバイザー
小山 薫堂氏

1964年6月23日 熊本県天草市生まれ。日本大学芸術学部放送学科卒。「料理の鉄人」や「ニューデザインパラダイス」、映画「おくりびと」など数多くのヒット作品の企画・構成に携わる。「くまモン」の生みの親でもある。



1月17日、プレゼンテーションにて

「伝統」を守りながら「新しい」感覚やテクノロジーを吹き込む。「地域」の特性を深めながら、その魅力を「世界」へ広く発信する。LEXUSが掲げる「二律双生」を、地方創生×モノづくりの視点で実現するプロジェクト。鳥取県選出の匠、陶芸家の森和之さんのモノづくりへかける思いと完成した作品を紹介する。

2年目となった今年は、全国47都道府県から計51人の若き匠を選出した。昨半夏、レクサスギャラリー高輪で行われたキックオフ・セッション

本プロジェクトは2016年、放送作家として「料理の鉄人」など多くのヒット番組を手がけ、くまモンの生みの親でもある小山薫堂氏をプロジェクトのスーパーバイザーに迎え、隈研吾氏(建築家/東京大学教授)、生駒芳子氏(ファッション・ジャーナリスト/アート・プロデューサー)、下川一哉氏(意と匠研究所)らをサポートメンバーに発足した。

レクサスが日本全国の「匠」のモノづくりを応援

1月17日に都内で行われた商談会では、百貨店・セレクトショップ・バイヤー・メディア・デザイン関係者などに向け、半年をかけて製作した自身のプロダクトをプレゼンテーション。世界へ羽ばたく足がかり、ビジネス拡大のきっかけとなる大きなチャンスを手にした。



プレゼンテーションの様子

「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT」(主催:LEXUS)は、日本各地で地域の独自性や伝統技術を生かして、新しいモノづくりの挑戦に「匠」を応援する。

手仕事による磁器ならではの存在感と質感を味わってほしい

森 和之 鳥取 / 陶芸家

身近な自然の風景をデザインに

「海が近く、山や川があった、瑞々しい空気がある。その中で作っている雰囲気や作品の中に入れられたら」との思いがプロダクト制作のスタートだった。キックオフ・セッションで、小山氏からの「何か特徴を、圧倒的な差別化をできるものがある」といいこのアドバイスをもとに、青白磁の清涼感を活かす「かき氷鉢」のイメージを膨らませた。



エリア・コンサルティングの様子

かき氷の鉢は、ガラス製が多いイメージ。その涼やかさを焼き物でいかに出すか。またサポートメンバーの川又俊明氏の「ただ綺麗な器ではなくてここに水を入れたくなる器にするにはどうしたらよいか」との意見も踏まえ、格子模様や江戸切子柄など、試行錯誤を重ねた。最終的に当初の思いでもある身近な冬の風景にヒントを得て、今回のプロダクト「夏季(かき)氷鉢「氷の華」」を完成させた。

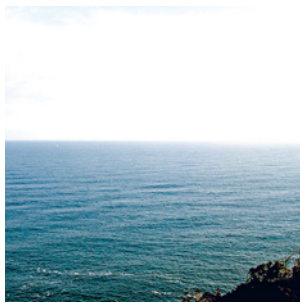


工房内の様子

瑞々しく軽やかさのある磁器に

氷鉢は寒椿の花弁を抽象的にデザイン。かき氷を食べ進む様子に、雪をかき分けた中に寒椿が顔を覗かせ、身近な自然の風景を重ねた。

傷が出やすく手間がかかる磁器は一般では機械生産のものが多く出回っているが、「手仕事で作られた磁器の器は存在感がある。温かみのある質感がある。手に持った時の重さや感覚を味わってほしい」との思いを自らの作品に込める。



魚見台から望む日本海



森さんの作業風景

ひと彫りひと彫りに思いを込め



涼やかな器にイチゴの赤が映える

土を練り、ろくろを挽き、乾燥させてカンナで削る。そのひと彫りひと彫りに思いを込める。素焼き後、そこに釉が溜まることで、濃淡がでる。器の表面に新しい表情を与え、自分らしさを表現していく。

柔らかい質感と温かい色味が特徴。「鳥取の青谷町は海が近く、自然豊かな所。普段冬はどんより曇った空だが、晴天時には空と海が霞み、柔らかな日本海の青空を見ることが出来る。ただピカピカした磁器より瑞々しく、軽やかさのある磁器にした」と、釉薬の調合も工夫した。

彫りに対しても、以前は立体的に彫ることもあったが、それでは奥行きが出ないと感じ、試行錯誤を続けている。

今回のプロダクトも比較的彫りに奥行きをつけているが、「挑戦しつつも、原点に戻る部分もあったよつな」と振り返る。

「もっと挑戦できたのではないかと。挑戦が足りなかったのではないかと。思いも残る。ただ、かき氷鉢というミニアツクな器に取り組んだことは貴重な経験となった。その経験を糧に「足りない」と感じた部分を追求していきたい」と、今後の活動に意欲を見せる。



完成プロダクト「夏季氷鉢～氷の華～」



森 和之
鳥取 / 陶芸家

1979年生まれ。2004年大阪芸術大学工芸学科陶芸コース卒業。2006年前田昭博氏に師事する。その後、2011年鳥取市青谷町にて独立。2016年日本工芸会正会員に認定される。毎年県内外の百貨店、ギャラリーなどで個展活動を行う。磁器の仕事を中心に青白磁や瑠璃釉の作品を制作。日本伝統工芸中国支部展鳥取県知事賞、その他入選多数。

